

2024年12月13日

各 位

会社名：**SCAT株式会社**
代表者：代表取締役 社長 長島 秀夫
(コード：3974 東証スタンダード市場)
問合せ先：取締役 執行役員 高橋 栄
(TEL：03-6275-1130)

取締役会の実効性評価の結果概要に関するお知らせ

当社は、取締役会の機能向上による企業価値向上を図ることを目的として、第57期（2024年10月期）における取締役会の実効性評価を実施いたしましたので、その結果概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

当社は、指名報酬委員会において、全ての取締役及び監査役に対し、第57期（2024年10月期）における取締役会の実効性に関して段階評価及びコメントを記載する方式の質問票を配布し、無記名方式により全員から回答を得ました。これを集計した上で、取締役会において分析・評価を行いました。

(1) 実施日時

2024年11月 アンケート作成、回収、評価・分析及び課題抽出
2024年12月 指名報酬委員会から取締役会へ答申
2024年12月 「第57期（2024年10月期）取締役会の実効性評価」確定

(2) 評価者

全取締役、及び監査役

(3) 実施方法

全評価者に対するアンケートの実施
指名報酬委員会でアンケート結果の評価・分析及び課題抽出

(4) 評価項目

第1部 取締役会の構成
第2部 取締役会の運営
第3部 取締役会の議題
第4部 取締役会を支える体制

2. 評価結果の概要

各取締役及び監査役の自己評価において、当社の取締役会の実効性について前年度評価より改善されておりますが、課題を確認いたしました。

評価された項目では、特に取締役会の運営について、資料の事前検討時間の確保のため、セキュリティを確保したクラウド上のファイルボックスを活用し、利便性が増し議事の活性化に繋がったと評価されました。

しかし、ROEやPBRを意識した施策について試行錯誤し実施したものの満足な結果は得られず、さらに、ESG経営やSDGsなどの環境経営対応や健康経営を含む人的資本への議題がまだまだ不足しているとの指摘があり、今後の課題となりました。

また個別のテーマのうち前年度課題であった役員のトレーニングについて、東証等の提供するWEB研修等の受講による改善はあったものの、依然として個別の資質に依存しており、会社としての教育体制の整備の必要性の意見がありました。

3. 改善された項目

(1) 経営戦略等に関する議論の深化

4. 評価結果を踏まえた取り組み

当社取締役会は、本評価結果を踏まえ議論した結果、以下を課題として認識し、取締役会の実効性向上のための取り組みを行います。

(1) 取締役会の議題

当社は、「経営戦略等の方向性の議論」「経営陣の報酬」及び「リスク管理」等については、執行役員会及び任意の委員会の設置・運営により、案件の整理及び可視化が浸透し改善された。しかし、企業価値向上に向け自己資本利益率（ROE）や株価収益率（PER）の向上に向けた各施策の成果が不十分であること、人的資本の活用、環境に係るESG（SDGs）対応についての議論が不足との指摘がありました。

(2) 取締役会を支える体制の強化

当社は、役員に対するトレーニングや会社費用での外部専門家の助言を得る機会の確保について、役員等に対する研修を推奨し、取締役会における議論の質の向上を図り、経営の監督機能を強化します。

当社取締役会は、今回の実効性評価結果を踏まえ、一層充実したコーポレートガバナンス体制を構築してまいります。

以 上